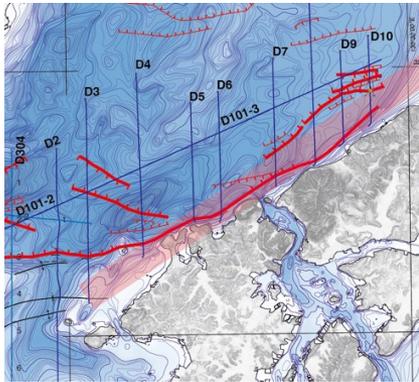


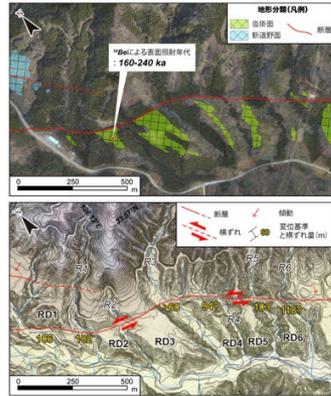
地震調査研究推進本部政策委員会
第16回予算調整部会・第92回調査観測計画部会
産業技術総合研究所 説明資料

活断層の活動性・履歴等の着実な収集 1(2)a

地震発生確率不明な断層をなくすため、活動性・活動履歴等、長期評価に資する情報を着実に収集（文科省委託事業で実施）



文科省・産総研（2025）



文科省・産総研（2020）

小型船舶調査等で解明された島原湾南縁に分布する海底活断層（布田川断層帯）

航空レーザー測量と宇宙線生成核種による横ずれ断層の評価（野坂・集福寺断層帯）

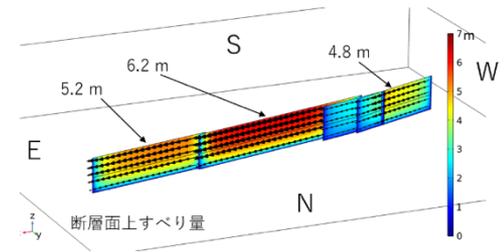
活断層の活動性評価手法の高度化に向けた調査研究 1(2)b

連動型地震の確率評価手法の開発に向けて、地質情報の収集、シミュレーションによる発生可能性の検討等を進めている（文科省委託事業で実施）



文科省・産総研（2022）

トレンチ掘削調査による古地震イベントの解読（中央構造線断層帯）



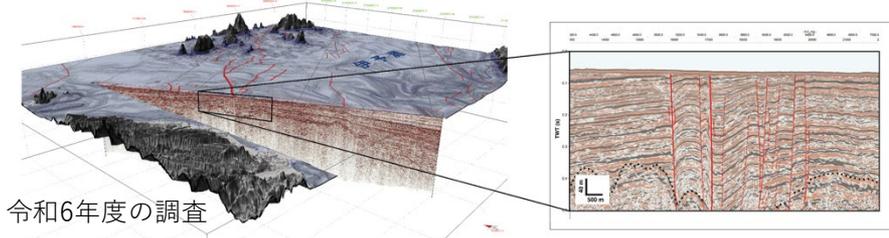
文科省・産総研（2023）

高度な断層モデル（三次元FEM）を用いた変位量解析（中央構造線断層帯）

都市域・沿岸域における活断層・地質情報の整備

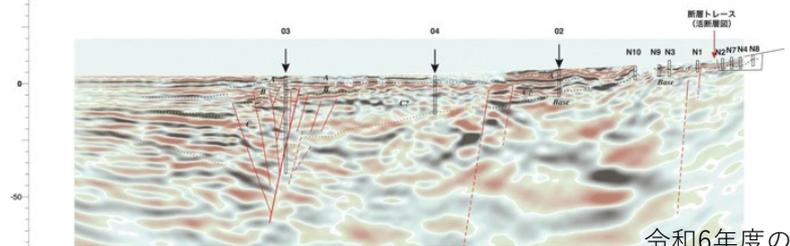
1(2)c

地震リスクの見落としを無くすため、都市域・沿岸域における調査の空白域等の活断層・地質情報を整備



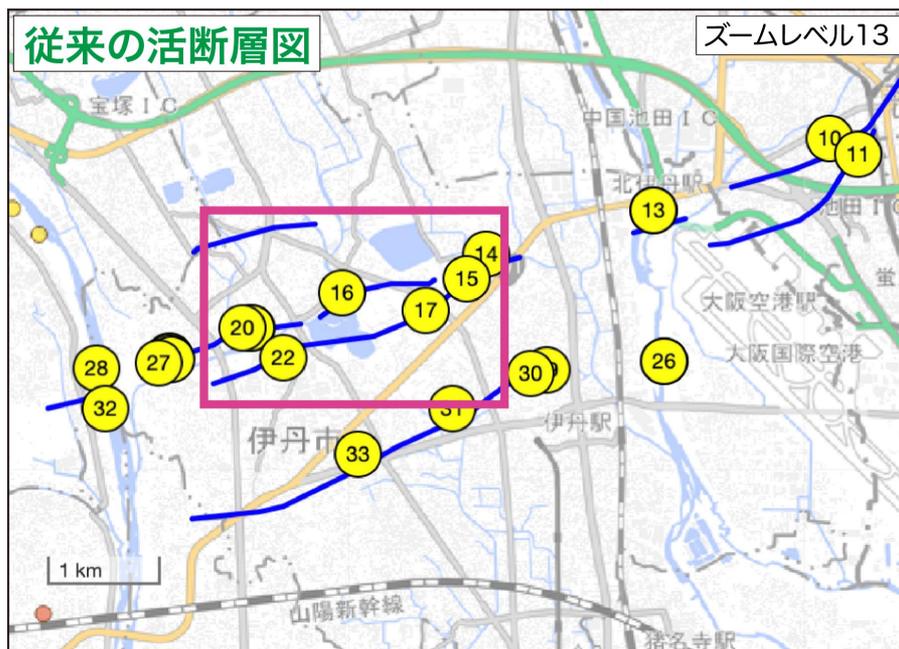
令和6年度の調査

海洋地質調査で防予諸島周辺海域に確認された海底活断層（瀬戸内伊予灘）



令和6年度の調査

各種物理探査と掘削調査で沖積低地に確認された活断層（福岡県西山断層帯）



- ・ 背景地図に縮尺25,000の1地形図が表示される（ズームレベル15, 16）まで拡大可能
 - > 近接する調査地の表示が重複してしまう問題を可能な限り解消
 - > 学校や病院などの重要施設と活断層との位置関係が明確になり、防災計画や避難経路の検討に貢献

1) 詳細活断層図の公開

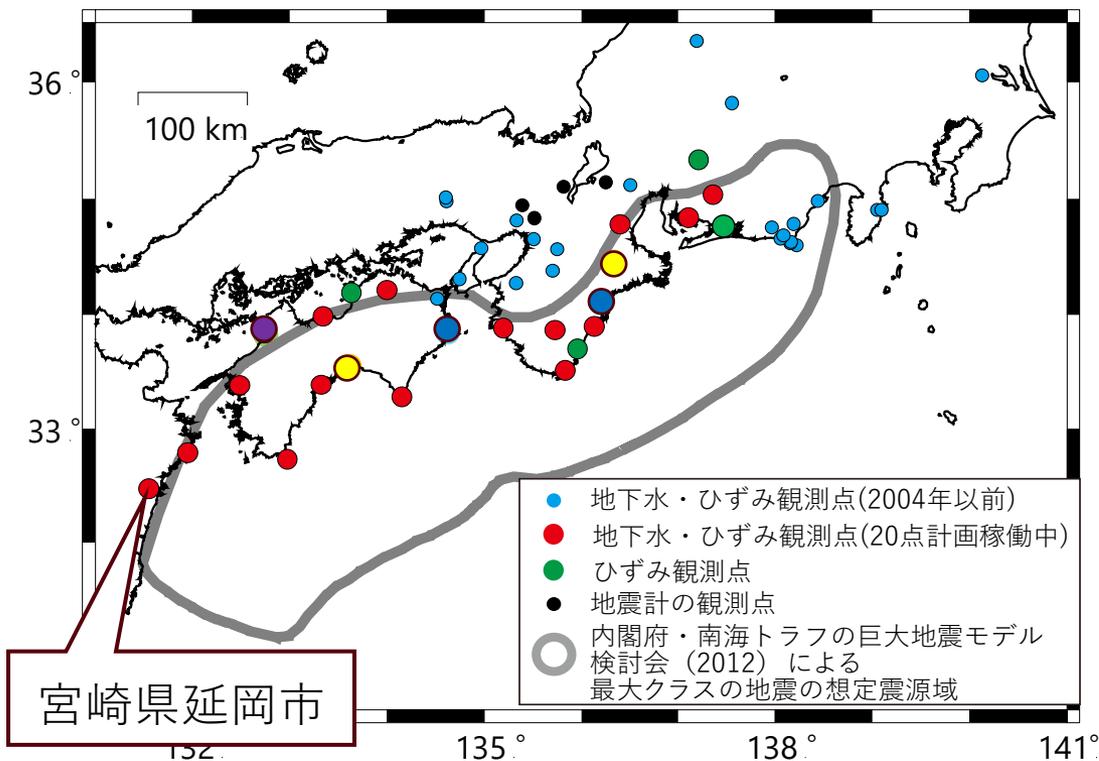
- ・ 令和7年度までに、82の活動セグメントについて、ズームレベル16まで拡大できる詳細活断層図をウェブ上で公開

2) 収録データの位置精度向上

- ・ 今後も詳細活断層図を公開していくため、調査地と活断層線の位置精度更新の作業を実施
- ・ 令和7年度には、809地点と20セグメントについて、位置精度の更新作業を実施

- ・ 2006年度に開始した南海トラフ沿いの観測施設の20点整備計画
- ・ 2025年3月に20点目（宮崎県延岡市）が完成
- ・ 故障したひずみ計5点の更新が残る

延岡北方観測点
(宮崎県延岡市)



20点計画のうち更新が必要な5地点

- (紀北海山、阿南桑野) : 2025年度に完成予定
- (松阪飯高、高知五台山) : 2026年度に更新予定
- (松山南江戸) : 今後更新予定

2026年2月時点

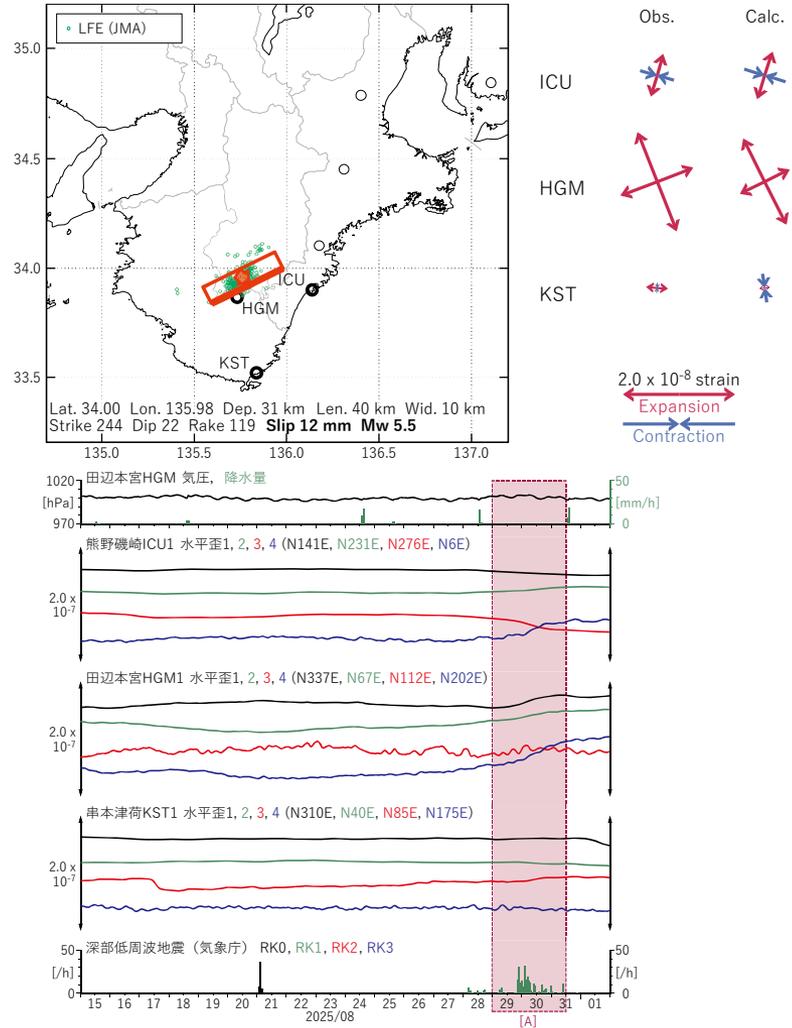


新規開発した小型ひずみ計（初号機）

長さ約3m（以前は約7m）
直径66mm（以前は88mm）

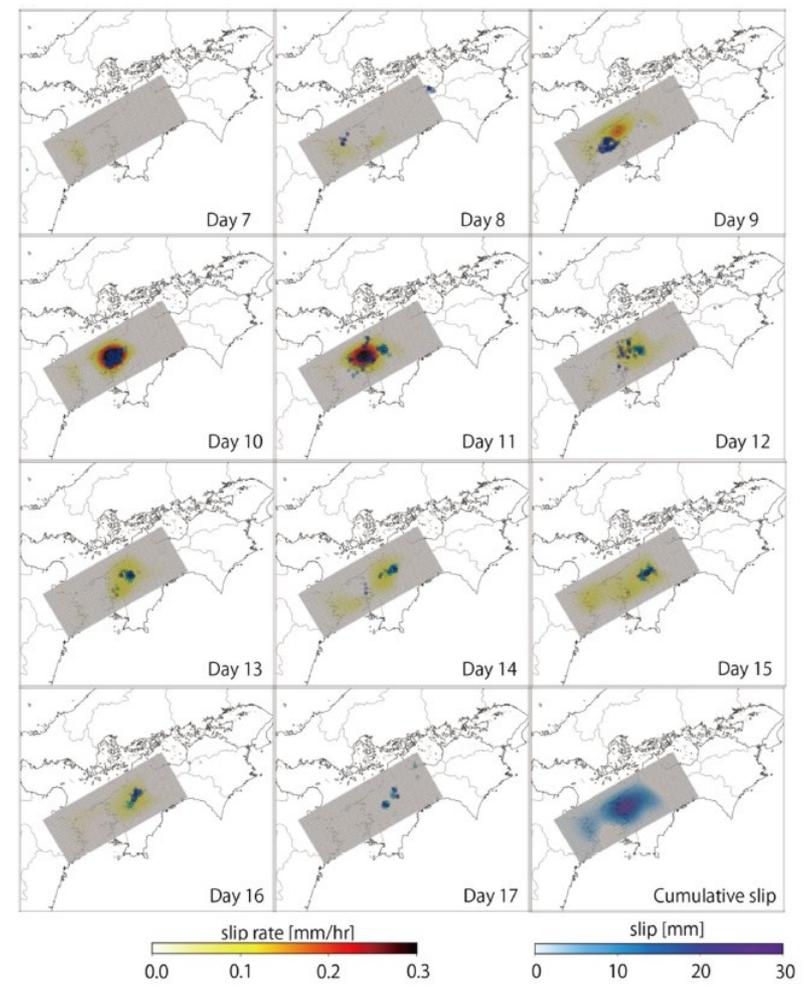
ゆっくりすべりの定常モニタリング

2025年8月の紀伊半島での検出例



最近の研究の進展

ゆっくりすべりの時空間分布の推定



Yabe et al. (2025)

毎月の地震調査委員会、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会に報告